

請願第3号 介護・福祉・医療など社会保障の

施策拡充についての請願書

討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 門原武志 議員

年金が振り込まれても介護保険料と国保税が天引きされているのを見て、これでは生活ができないという人がいる。介護保険料を払っても十分なサービスが受けられない。要介護1・2の人が原則、特別養護老人ホームに入所できなくなった。施設整備の遅れの解消が急務だ。町は毎年税率引き上げを行っているが、独自の法定外繰入を増やし、負担軽減を図るべきだ。給食費を無償化すれば、質が落ちるとの意見があるが義務教育費、教科書代を無償化しても教育の質は低下しなかった。民間保育園の意義を否定しないが、町の責任を後退させてはならない。今は誘致すれば民間保育園が来てくれる恵まれた地域だが、これがいつまでも続くという保障はなく、現に公で担っている責任は手放すべきではない。難聴の原因になるおたふくかぜを防ぐワクチンは耳鼻咽喉科学会も認めているので補助は必要。常勤の歯科衛生士の配置も、町民の健康のために重要。

反対討論 中野まさひろ 議員

請願項目の中には、賛同できる項目は少なからずあるが、賛同できない部分も多々ある。賛同できない部分の中から以下の二点につき反対の意見表明をさせていただく。第一は、「6子育て支援について」の「(3) こどもの給食費の無償化」について、私は、無償化の前に、農業振興や子ども達に安全安心な給食を提供するために、地産地消食材や有機野菜の使用拡大を優先すべきであると考えている。第二に、同じく「(4) の保育施策の抜本的拡充」について、公立保育園の民間移管は、一律に反対すべきものではなく、良い保育をいかに提供するかが肝心であると考えている。民間であることによって、一律に良い保育の提供が阻害されるとは思っていない。

反対討論 國府田さとみ 議員

子どもの給食費の無償化に関して、無償化以前に、本町が行っている「アレルギー食への対応」や「有機食材の使用」を始めとした、食の安心・安全と質の向上を目指すことがまずは必要。それを公費負担で進めていく姿勢が大切。無償化ありきの議論により、そうした姿勢にブレーキをかけかねないと懸念する。ただ、教育には国をあげてもっと多くの予算を投じ、拡充整備されるべきであり、教育費の完全無償化は最終的に成されるべきと考える。しかし、給食費無償化は段階を経て丁寧に進める必要があるとあり、端的な要望には賛同しかねる。また、予防接種について助成制度を求める事については、現行任意接種で良いレベルの病気への接種である点と、接種には様々な考え方があり接種ありきではない事、需要としてどのくらいの必要性があるのかという点において懐疑的である事から賛同できない。多くの賛成できる項目があったが、上記の理由により総じて賛成できない為反対とする。